

「台湾フィールド・ワーク 2024（8日間）」募集要項

1. 趣旨

2017年10月1日に台湾教育部(文科省に相当)と九州大学が共同で開設した台湾スタディーズ・プロジェクトの一環で行っている授業での知識を元に、現地での実習を行い、台湾の文化、政治、歴史についての理解を深める。

2. 応募資格、募集人数

九州大学の正規課程の学部生、院生で、台湾の文化、政治、歴史、人権、民主主義等に興味があり、台湾の大学間協定校の学生との学術交流に関心のあるものを 10名程度募集する。

3. 派遣先大学及び派遣先機関（予定）

【台北】国立台湾大学、国立台湾師範大学、228 事件記念館、景美人権文化園區、総統府、希望ないし専攻に応じて選択:総統府、台湾民主基金会、LGBT 関連 NGO、阿嬤家(女性と人権博物館)、婦女新知基金会、故宮博物館、鄭南榕記念館など。

【金門】馬山観測站、水頭村、翟山坑道、古寧頭戦史館、山后民俗文化村、八二三戦史館など。

※なお、施設見学に際しては、必ず教員や中国語が話せる現地スタッフが付き添い安全確保を行う。
東京大学のトリリンガルプログラムの学生、教員との合同プログラムでもある。

4. 日程 2025年2月22日(土)～3月1日(土)(7泊8日)

5. スケジュールと研修内容（予定）

2/22 (土)	午前：福岡空港国際線ロビー集合 福岡空港から台北へ。(約2時間) 桃園空港から松山空港(国内線)まで移動。(東大と合流) 松山空港から金門へ。(約1時間) 手配してある貸切バスに乗り、ホテル着。	[金門泊]
2/23 (日)	終日：【金門フィールド・ワーク】(貸切バス移動)	[金門泊]
2/24 (月)	終日：【金門フィールド・ワーク】(貸切バス移動)	[金門泊]
2/25 (火)	午前：金門空港から台北、松山空港へ。(約1時間) 午後：228 国家記念館で中央大学歴史研究所の陳家豪先生より建築の歴史と228 事件背景についての紹介。その後、「228 の傷跡」映画鑑賞。映画終了後は、常設展の解説を自由参観。 夕方：国立台湾師範大学を訪問。師範大学の学生との交流と台湾在住の文筆家、栖来ひかりさんによる「移行期正義」に関する講義。	[台北泊]
2/26 (水)	グループワーク 1日目：4つのグループに別れて調査。	[台北泊]

	【午前、午後ともに】各自の興味のあるテーマについてグループに別れ調査。東京大学トライリンガルプログラムの学生、九州大学の学生の調査のサポートとして台湾大学と淡江大学の学生さんが数名付き、教員とともに行動。(注3)	
2/27 (木)	グループワーク 2 日目：4つのグループに別れて調査。 【午前、午後ともに】各自の興味のあるテーマについてグループに別れ調査。東京大学トライリンガルプログラムの学生、九州大学の学生の調査のサポートとして台湾大学と淡江大学の学生さんが数名付き、教員とともに行動。(注3)	[台北泊]
2/28 (金)	午前：午後の発表に向けてホテルで各自準備。 午後：国立台湾大学を散策。15時から国立台湾大学にて日本人学生と台湾人学生の交流会。各グループ 20分程度今回の海外研修で学んだことについてプレゼン。 その後、交流食事会(打ち上げ)	[台北泊]
3/1 (土)	ホテルチェックアウト後、台北 101 や中正記念堂へ。 昼食後、桃園空港へ移動。 夕方の便で桃園空港から福岡へ。(約 2 時間) 福岡空港到着後、空港で解散。	

注3) 26日、27日のグループワークは参加する学生の希望を聞きながら訪問先を決める。参考までに去年の訪問先は、以下の通り。

【一日目】

グループ1(ジェンダー):阿嬤家、小紅厝月経博物館、台灣國家婦女館など。

グループ2(東南アジア移民):インドネシア街、台北グランドモスクなど。

グループ3(香港移民):如水(香港情報メディア)、飛地(香港移住者が作った言論空間)、銅鑼灣書店

グループ4(桃園と淡水):桃園忠烈祠と桃園神社、大溪老茶工場、慈湖、ミスターブラウンコーヒー工場など。

グループ5(博物館):国立台湾博物館、中正記念堂、国父記念館

グループ6(建築):龍山寺、中山堂、総統府、華山 1914 文化創意産業園区

【二日目】

グループ1(ジェンダー):総統府、台湾同志熱線、台湾長老教会

グループ3(香港移民):香港人を支援してきた教会や牧師たちを訪問。(済南教会など)

グループ4(桃園と淡水):紅毛城、牛津学堂、淡江大学で学生と日台の学生生活についてのちがいについて議論。

グループ5(博物館):故宮博物館、順益台湾原住民博物館

グループ6(建築):台北 101、中正記念堂、迪化街問屋街、南機場夜市など

6. 大学の支援内容と自己負担内容

フィールドワーク全体でかかる費用(交通費、宿泊費等を含めて)は 15万円程度(全額自己負担)を想定している。九大基金(6万円)の奨学金6名分を準備。(審査あり) 宿泊場所は、大学のゲストハウスもしくはホテルを予定。なお、海外旅行保険は、学研災付帯海外留学保険(略称:付帯海学)に

必ず加入しなければならない。加入方法は、派遣候補者決定後に参加申請書記載の E-mail アドレス宛に通知する。

7. 申請方法と期限

➤ 申請期間: **2025年1月6日(月)～1月31日(金) (①と②の提出期限)**

➤ 申請書類:

① 「台湾フィールド・ワーク 参加申請書」

② 「台湾フィールド・ワーク 志望理由書」

➤ 申請方法:

上記書類を台湾スタディーズ・プログラム(台湾 SP) (kyudaitaiwanstudies@gmail.com) に提出。

8. 選考

「参加申請書」、「志望理由書」をベースに選考の上、派遣候補者を決定する。なお必要に応じて面接を行なう場合がある。選考結果は締切後数日以内に参加申請書記載の E-mail アドレス宛に通知する。

9. 事前学習

台湾 SP 関連の授業を受けていない学生に関しては、フィールドワークの前に台湾関連授業をできるだけ受けること(履修もしくは聴講)。参加予定の学生は後日日時を設定する事前学習を義務付ける。(東京大学が行う事前授業(オンライン)に関しても日程をお知らせするので、参加できるものは参加すること。)台湾関連授業の日程については後ほど告知する。

10. 単位認定

本事業「台湾フィールド・ワーク」は、教育学部専攻教育科目の「Overseas Fieldwork II (1単位)」として単位認定を行う。なお、学部一年生が参加した場合の単位認定は行わないものとする。

また、本事業により認定された単位を自身の卒業要件の単位に含めることができるかどうか不明な場合は、各自で所属する学部の教務担当係に確認すること。

11. その他

記入がわからない場合、参加に際しての心配事などがある場合などに対して事前の相談用オフィスアワーを設けるので、前原までメールでアポイントメントを取ること。

(maehara.shiho.030@m.kyushu-u.ac.jp)

12. 提出先・問い合わせ先

・「台湾フィールド・ワーク 2024」全般について

台湾スタディーズ・プログラム(台湾 SP)担当 前原志保: (maehara.shiho.030@m.kyushu-u.ac.jp)